

刊夕 日九月四

# 常磐毎日新聞

定価 一冊五銭 一月五拾五銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年五拾銭  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞社

## 小女達の婦人科 的な注意 (一)

安濟外科醫院  
婦人科 黒澤 廣

今日は少女期の事に就てお話を申上るので御座います。少女期と申すのは何歳位迄を言ふかといふ事を先づ定めなければなりません。小兒科學では、十五歳迄を少女期として居りますから私もその積りで申上る事に致します。生れてからこの少女期までには勿論麻疹とが其他色々な病氣もありますが今日申上様と致しますのは特に婦人科の領域から見ました事のみを申上て見たいと思ひます。もう一つは婦人特有な、此の時代の身體の變化といふ事を申上たいと思ひます。

しないか便通はどんなであるとか、いふ様に心を配られる事と存じます。其の御注意の中に、お子様のお召物に何か變つたものが付いていないかといふ事を調べる事が必要であります。若しジロース等に粘液とか膿とかを發見した場合には、普通ではないのであります。少女期には何も分泌物がないのが普通で

- 朝 味噌汁 大根 小付 のり佃煮
- 晝 サンドウィッチ コーヒ 果物
- 晩 菜めし 豆腐あんかけ 芋粉むき添へ

ありますから、何が粘液等が分泌する様ならば捨てる置いてはならないのであります。子供は一人遊びをする様になりずと戸外で大人に悪戯をされるといふ事もあり、家の中の人が病氣を移すといふ事もあり又両親の中に性病をもつてゐるといふ病氣をうつす事もありまして、少女の陰癢といふ淋毒性の病氣になる場合が有ります。此の分泌物が尿道に這入つて尿が出る時に痛みを訴へる人もあります。

## 文藝募集

あり遂に月經が来るまで續くといふ事があります。萬一異常な分泌物があつたならば、直ぐにお醫者様に見せて、不幸を後に残さない様にしなければなりません。然もかういふ場合に子供は喜んで醫師の所に行くものではないかもしれません。母親は忙しいものですからつい捨て置くものですがかういふ事は召使等にさせるべきではありません。必ずお母様が熱心と忍耐を以て充分根治する迄續けて上げるといふ事が母の義務であります。

## 奉祝平町鎮座縣社子鉞倉稻荷神社 廣告祭假裝行列大會

一、四月十七日(宵祭) 參加店主參列商運隆盛祈願式  
一、四月十八日(渡御祭) 廣告假裝行列町内行進の上審査會を縣社境内に於て行ふ  
一、賞品 一等榮譽ある平町長優勝旗並に賞金拾圓副賞付、二等以下十等迄高級賞品を進呈、參加者には中食付記念品進呈  
時間、行列行進順序、審査員、賞品其他追つて詳報す。奮つて御參加を乞ふ

後援 平町役場  
縣社子鉞倉神社  
平各新聞社  
主催 いはさ新報社  
高木喬

## 吸入用酸素純度 99%

度量器 秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス  
ハカリ 寒暖計

## 關内藥局

寫真材料一式販賣致シマス  
電話四〇番

## 吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番  
醫學士 吉田久雄

## 磐城セメント會社特約店 久全屋固店

□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は久の生命なり

## 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五二二番

## 外科 内臓外科 院長 安齊 徹

X光線科 産婦人科 醫學士 黒澤 廣  
▽入院隨意△  
平町田町 安齊醫院 電話四七五

## 花柳病科 專門

## 木村外科醫院

自炊入院の便あり  
電話三〇九番  
平町六丁目橋際

# らびぎの耳にサイン

## ▽...是れなら大丈夫と

### ▽...保証付種兔を配給

石城郡下の養兔熱は逐年熾人になりつゝあるが、従来縣農會及縣副業協會では生産した種兔をひとまづ買上げた後希望者に配給して來たが各郡農會主催の座談會に於て發育不充分又は到着前の斃死免があること判明したので本年度は更正する計畫の下に養兔の權威者新城氏をして母免の系統を詳細に調査した上仔免は福島市會根の同氏宅に一週間飼

養管理し鑑別した上確實性のあるものにはその耳に丸に福の縣農會のマークをサインして全縣下に配給することになった。

- 菊地部長 本田(正)生江  
藤本渡邊(武)巡查 △受  
付係長 木戸部長 係員  
柴田内勤 △紀律訓練係  
長 齋藤警部補 係員鈴木  
木忠正 渡邊 草刈各部  
長 △學式係長 小林警部  
補 副係長柴警部補 係  
員中島警部補 鈴木内勤  
部長 △記録係渡邊温部  
長 △接待係長 長澤警  
部補 係員安藤中島兩部  
長 草野 熊田 鈴木  
室井(司) 室井(特)布施  
各刑事 △會計係長 金  
子部長 係員管家巡查  
△第二會場係長柴警部補  
係員金子・木戸菊地各部  
長 管家巡查 以上

## 湯本側も躍起

### 縣廳に迫る

#### 平小鐵道路線

##### 湯本廻り力説

平小鐵道路線通過地の争奪は關係町村が沖々秘策を練つて猛烈な運動を續行してゐるが湯本町では近く具體化される東北火力發電所の設置と相俟つて小名濱町と殆ど共同戦線を張り來つゝあつたが昨八日石川町長外町會議員十四、五名は大縣廳に陳情に出福知事不在のため出石總務部長に對し

### 消防協會 幹部會

終つて花見

(既報)石城消防協會幹部會は十二日午前八時より平町第三小學校で開催終つて松ケ岡公園の第二會場に繰り込むことになつたが當日の擔當別左の如し

- △庶務係長小林警部補  
係員渡邊温部長 △會場  
係長渡邊(定)部長 係員

## 教育座談

### 第三校行事

平第三小學校は本年度より児童教育の改善と向上を圖る爲め職員と教師座談會を毎月一日開くことになつたが同校の今月於ける主

## 菜種工場 益々躍進

### 増築に着工

【既報】本縣唯一の菜種工場として躍進途上にある四倉菜種工場の増築工事は工費千餘圓で長さ五間幅四間二

## 六十八萬圓が

### 煙りと消ゆ

#### 驚くべき煙草代

水戸地方專賣局平出張所の調査によると昨年四月から本年三月迄の一フ年間に於ける愛煙家の煙草代は六十八萬三千三百九十八圓二十七錢の巨額に達し前年より一萬五千七百二十三圓三十三錢の増加を示してゐるがこれは近年の全國的傾向である愛煙家の自然増加によるものと見られて居る因に主なる煙草の賣上個數左の如くである

- (朝日)七七七、二二一個  
(敷島)五〇、一六二(み  
のり)七九、四九八(エ  
ヤーツブ)八九、三五  
四(チエリイ)一六四、  
七六(パット)四二四、  
六〇〇(曉)三六三、六

階建の整理室を増築することとなり今八日より起工本月二十日迄に竣工の豫定であるが増築工事に引續いて更に搾油機一臺の増設計畫がありその發展振りは目まぐるしい程である

### 養蠶組合表彰

蠶業組合聯合會は養蠶實行組合に對し共濟並に備荒施設を奨励し成績優秀な組合を表彰することとなり設備の結果本郡では澤渡村中寺第一組合が表彰されると

### 博士論文提出

渡邊村大字泉田出身で現在仙臺第二高等學校教授である小野知夫氏(三)は今回東北帝大は「スライバの性染色體」に關する論文を提出し理學博士の學位を授與されたが氏は警中出身である

### 優良馬表彰

上遠野村馬市 上遠野村二才駕驪市は五日より八日まで行はれたが出頭馬三百三十八頭總額一萬四千七百六十圓平均六十二圓卅錢で最高は百六十圓最低廿圓で尙表彰された優良馬左の如し

### 平町人車

- △北目町八 猪狩喜一氏長  
女房子さん  
△播磨小路六 當時大阪市  
西區阿岐堀通町壹丁目三  
六 新宮健雄氏長男一郎  
さん  
△立町一 鈴木福太郎氏三  
女節子さん  
平職業紹介所報告  
回 人を求める方  
△コック 廿五才迄 月給  
十圓 尋卒  
△配達兼農夫 廿才前後  
月給五圓  
△トラック助手 十八才迄  
月給五圓  
回 職を求める方  
△醬油醸造 卅一才 尋卒  
△女工 廿二才 尋卒  
△採炭夫 卅八才 高卒  
△土工夫 廿三才 高卒  
△コック 卅才 高卒

## 魚清食堂

原庄六云云

### 喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 仕舞 白土會

入會隨時 電話二二七番

# 人絹の幟首が

## 青春の命を断つ

### 戀に破れた女工の轢死

元昭和人絹會社女工が男の失職から戀を失ひあたら生命を断つた青春哀話。六日夜九時頃水戸公園下常磐線上下野行列車に飛び込み頭部を轢断、自殺した二十二歳の女があつた。右は懷中にあつた遺書により那珂郡五臺村後藤初子（三）と判明した。

同人は植田町昭和人絹工場に勤務中昨年九月頃から男工石井松一（三）と戀

仲になつたが餘り評判になつて初子は勤め憎くなり東京大森區池上洗足町船橋橋方に女中奉公に住み込みその後文通を續けてゐたが

最近男は人絹を幟首され二人の結婚は到底不可能だと聽かされ悲觀の結果らしく數日前に自宅に歸つて來て再び奉公に行くと言つたまゝ右の始末に及んだものである。

## 密漁が發覺

### 豊間の春日丸に

#### 操業停止の處分

豊間村四家喜七氏所有春日丸は今回農林大臣の六日付命令書に依つて五十日間操業停止處分を受け豊間港に停船せしめられるが同船は去る八年十二月四日農林省の禁漁區である青森縣上北郡高瀬川口北東東海面で密漁中を農林省監視船祥鳳に發見された爲めである

## 春が逆戻り

### 氣の採める天候

#### 次第に回復との觀側

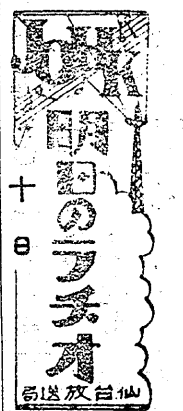
平地方の天候は漸く暖かさを取戻し櫻の蕾をよくらんだと思つたらこの一兩日急に寒くなり出して春が又逆もどりかと疑ふ天候になりかけた小名濱測候所のお託宣によると

高氣壓が小笠原と北滿洲にまた七五〇ミリの低氣壓が上海にあり、この爲高氣壓と低氣壓との谷が出来、ぐづいた天候となつたのですが昨日あたりより低氣壓が東北東

## 又も黒字

### 平驛の繁昌

平驛去月中の乗降者客數は乗車が四萬九千七百三十四人、降者四萬八千二百一十一人の運賃が二萬五千九百圓で昨年同期に比較して乗車が二千八百一人、降車は二千四百九十一人、賃金が六



今晚の部  
今夜は南の風  
曇薄く  
明は南の風晴れ

今晩の部  
後六、〇〇 少年史談「小牧長久手の戦」松永亮逸  
後六、二五 講演「交友録から」登張竹風  
後七、三〇 「我が建築界の今昔」横河民輔  
後八、〇〇 花めぐり第三日「院の庄から鶴山城へ」(津山市鶴山城址より)  
後八、十五 歌謡曲 楠木

繁夫、市三(津山市朝日劇場より)  
後九、〇五 東をどり「進め日本」新橋連(新橋演舞場より)  
後九、二〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告  
明日の部  
前七、〇一 朝の修養「入

法界品」湯次了榮(京前九、〇〇 家庭メモ  
前一、三〇 家庭講座「養と調理」婦人と子供のための榮養」下田吉人  
後〇、〇五 時報小唄と豆漫談 濱勇他  
後二、〇〇 婦人の時間「家庭と法律」生れた子供は誰の何うなるか」牧野菊之助  
後三、一〇 教師の時間「尋三新修身書の取扱方」川島次郎  
後六、〇〇 童謡と唱歌「齊唱」若松市若松第二小学校児童

後六、二正 農家の時間「稻熱病の綜合防除」伊藤誠哉  
後七、三〇 講演「軍縮會議を繞る歐洲列國海軍の情況」水野恭介  
後八、〇〇 ビアノ獨奏 ウヰルヘルム・ケンプ  
後八、三五 東明節「青柳」東明河舟他  
後八、五〇 郷土舞踊と俚謡 兵庫縣網干町、東京府伊豆三宅島神着村、廣島縣山南村、長崎縣久田村、岩手縣平泉村、富山縣高岡市各有志  
後九、五五 日本棋院春季大手合戦續

## 死神に...

### つかれた男

東京市荒川区日暮里町四ノ一〇五七島津製作所建築係北海道函館市柏木町生れ榎安次(三)は神經衰弱で常に死事めを口走つてゐたが一日行方捜査中の處東京仙臺間の列車から自殺する旨三日附消印ある手紙あつたので或は平方面に潜伏して居るかも知れぬと九日平署へ捜査方願出た

## 親の意見も

### 何のその

#### 女給と駈落

小名濱町字松之中農平太郎三男平間作太郎(九)は昨年夏頃から磯原町某飯店女給静岡縣生れ管野一子(二)と馴染になり親の意見も聞き入れなかつたが去る四日

## 自轉車の番號から

### 屍体の身許が判る

【既報】磐崎村山林地内の縊死體に就いては身元調査中の處屍體の傍にあつた自轉車の番號から岩瀬郡收本村字收之内藥行南北島唯一(一)と判明屍體は七日家人が引取つたが原因は不明である

## 辯財天の名畫

### 平町月見町根本一馬氏は昨八日

平町役場を経て文部省へ同氏所藏辯財天十五童兒畫像一幅を重要美術品の指定方を申請したが同畫像は八代本縣史蹟天然物調査員の鑑

## 平局の俳句會

平郵便局の俳句同好者の集り俳句會例金は来る十日午後六時から健康相談所に開くが題目は花、摘草、目刺等である

## 印刷の御用命は...

常磐毎日印刷株式

## 生長の家講演

### 来る

十日午後一時より平町一丁目市厚守馬氏宅に於て生長の家」講師小永井氏が生長の家の如何なる教へかに就いて講師ある由會費無料一般來聽を歓迎すると

## 諏訪神社祭典

江名町の諏訪神社は昨年四月から工費一萬五千圓で改築の處合月末竣功するので五月印刷の御用命は...



（誌上）  
（演劇）  
九二 浅草の屯所  
悟道軒圓玉（作）  
尾至陽（畫）

九二 浅草の屯所  
お花は女中を呼んで  
お湯はもうわいたかえ  
沸いたならね盥へ取つて縁  
側へ持つて来ておくれ、そ  
れからね、お茶を入れてこ  
のお客様に出しておくれ  
さよ、ハイ長まりました、  
姐さん何んなことをしたの  
どうしてこんなにお役人が  
来たの  
花「それは後にわかるよ、  
さア皆さんお茶でも召上つ  
て休息してください」  
とお花は縁に出て手洗を  
つかひちよいと化粧粧を  
して出張の捕方の前でゆう  
／＼と茶を飲み  
花「御飯を頂いて行きます  
から待つておいてください  
な」  
捕「早くいたせ、貴様は剛  
膽者だな」  
花「こんな時にさわいたと  
て逃げることは出来ませま  
い、逃げるにしてもお腹を  
こしらへて置かないと困る  
からねえ」  
と女中に給仕をさせて朝  
飯を食し、これから着物を  
着かえる、それを出張の捕  
吏が見てゐる、お花はこれ  
またゆう／＼と衣裳を着て  
亂れた髪を取り上げ、お



して持つて行く、お花は根  
岸をはなれて坂本の通りへ  
出ると手拭で顔を包んだ  
往來の者は立ちどまり  
○「何んだらうねあの女は  
腰繩でおくられるぞ」  
△「大泥棒だね、おや／＼  
刀や鐵砲を車に積んで持つ  
て行くが、この女は反謀人  
だな、四五日前にテラリと  
聞いたが根岸に大した女泥  
棒があるさうだ、手下が二  
三百人もあつて大名や金持  
をおどして金を取り、それ  
を軍用金として今江戸に押  
して來る薩摩や長州を相手  
に戦ひをするさうだ、それ  
にその女は魔法つかひ、南  
無さつたりやはらいに／＼

ボソと腰繩をうつた、女中  
のおきよはこれを見ておど  
ろいてゐる、捕方は二タ手  
に別かれて家宅を搜索する  
と天井裏から脚差が十五六  
口出て床下には小銃が十三  
四挺あつた、これには捕方  
もびつくりした、これから  
お花を引き立て脇差や鐵砲  
は一からげにして證據品と

と呪文をとへると數百匹  
の蛙が出て來て毒氣を吐い  
て兵隊を殺さうだ、  
あれは魔法つかひで、今自  
雷也とはあの女のことさ  
などと尾／＼尾をつけてこん  
なことをいつてゐる、お花  
は浅草の傳法院の寺中に設  
けた市中見廻り大岡源右工  
門の屯所に引／＼連れてられ、

氣の小さなものはこれを  
見たばかりでふるふる。  
大岡源右工門はお花をデ  
ツと見て居たが  
源「何事も有りのまゝ申せ  
いつはりを申すとゆるさぬ  
ぞ」  
花「何ういふおうたがひを  
うけましたか、それを聞か  
してくださいナ」

こゝで白洲にまはされ源右  
工門の取調べをうける、正  
面一段高きところに出生し  
たは大岡源右工門義經袴を  
はき陣羽織を着てゐる、お  
花は砂利の上に引きすえら  
れるとうしろには三人つき  
そひ、弓の折れを持つてビ  
タリ／＼と地を叩いたはい  
はねばこれだせめるといふ  
こと形で見せる、三方には  
七寶つぎの紋のついた幕を  
張りつめ正面の壁には麻繩  
その他青竹でつくりし梯子  
がある、また白洲には番手  
桶にあふれる程水をたッ  
それに竹のへらに麻をま  
いた箒尻となづけた掃器がそ  
なへてある。

源「さきまはこの浅草の奥  
山に水茶屋を出して居つた  
花と申すものだナ」  
花「さうですよ、櫻屋のお  
花ですよ」  
源「先般浅草蔵前誰ヶ袖に  
て札差共を脅して大金を掠  
奪いたし居つたな、有体に  
申せ」  
と一喝した

店主	が	店員
を	連	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	

平・田町  
レストサロン  
電三五二番

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める  
川崎 回文庫  
（申込次第規則書進呈）  
電六三〇番

看護婦急派  
求めに應じ  
ます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

ほねのこ  
桑原柔道整骨院  
平町園下電話六七四

擴張御披露  
私事永らくの間東京精養軒及丸ノ内會  
館に於て各國の高級料理と眞の支那料  
理の研究を遂げ、此程歸平しまして、  
デパート式食堂を開く事になりました  
何卒御引立の程御願ひ致します  
金子松男

非常時日本の更正に皆様の御健康を護  
る最も進歩せる洋食と支那料理  
三大モットー  
▽味良く（自信／＼出来る研究の結果を）  
▽量多く（自ら庖丁を手にして他人に委せは  
す勉強振りを量に依つて印します）  
▽衛生上（加熱消毒を致します）  
田町銀座街より一步御入りになれば、感じ  
設備で御家庭を延長した御気分が味はれ  
近く御便宜で御座います  
◎材料は日々京濱地方より新品到着  
致します  
出前迅速  
平町田町

福壽軒  
電話二一八番